

令和4年度 「学校評価結果一覧表」

項 目		児 童		保 護 者		教 職 員	
		R3	R4	R3	R4	R3	R4
1	学校の教育方針に共感でき、教育活動全般に満足している。	3.2	3.3	3.2	3.3	3.5	3.5
2	学校は、特色ある教育活動（学力の向上・小中連携・開かれた学校）を行っている。	/	/	3.1	3.0	3.4	3.2
3	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	3.5	3.1	3.1	2.9	3.8	3.7
4	学校は、校内外問わず生活面の指導をきちんと行っている。	3.5	3.6	3.2	3.0	3.6	3.5
5	学校は、学習内容の定着を図るための課題（宿題・自主学習）を出している。	3.5	3.5	3.4	3.3	3.6	3.6
6	教職員は、子どもをよく理解し、個に応じたわかりやすい授業を行っている。	3.7	3.7	3.2	3.1	3.5	3.1
7	教職員は、努力を認め、子どもの能力に応じた対応をし、伸ばそうと努力している。	3.6	3.7	3.3	3.3	3.4	3.3
8	教職員は、子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じている。	3.7	3.7	3.3	3.1	3.6	3.5
9	教職員は、家庭への連絡や報告をきめ細やかにしている。	/	/	3.3	3.2	3.4	3.3
10	子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。	3.4	3.5	3.4	3.4	3.1	3.2
11	子どもたちは、誰にでも気持ちのよいあいさつや言葉遣いができている。	3.3	3.4	2.8	2.8	2.6	2.7
12	子どもたちは、健康に気をつけている。（歯磨き・手洗い・うがい・マスク着用など）	3.7	3.7	3.4	3.3	3.1	3.1
13	学校は、清掃が行き届き、学習するのにふさわしい環境になっている。	3.7	3.7	3.3	3.3	3.2	3.1
14	学校は、校内の危険箇所への配慮があり、安全に生活を送ることができる環境を整えている。	3.5	3.6	3.3	3.2	3.5	3.3
15	学校では、命や人権を大切にする教育に積極的に取り組んでいる。	3.5	3.7	3.3	3.1	3.5	3.5
16	学校は、ホームページや学校だより、学年だより等で学校の様子をわかりやすく伝えている。	/	/	3.2	3.3	3.5	3.5
17	学校は、学校行事等で、保護者や地域の人たちが、来校する機会を適切に設けている。	/	/	3.2	3.4	3.4	3.6
18	学校は、地域の行事を理解し、協力的である。	/	/	3.2	3.2	3.3	3.1
19	学校は地域と連携をとり、校区内の安全や交通事故防止に配慮している。	/	/	3.3	3.3	3.6	3.4
20	学校は、様々な機会を通して、小中連携の取組の周知に努めている。	/	/	3.2	3.1	3.4	3.2

21	運動会の日程について（保護者の回答のみ）	半 日	75%	どちらでも よい	10%	1 日	15%
----	----------------------	-----	-----	-------------	-----	-----	-----

広田小学校 学校評価の結果について

学校評価へのご協力ありがとうございました。
回答いただいた結果及びご意見ご感想につきましては、今後もよきご助言として受け止め、学校経営及び子供たちへの指導に生かしていきます。
まずは、上ページの表「学校評価結果一覧」の数値結果についての考察です。



- 概ね「学校の教育方針及び教育活動全般」へご理解いただいていること
項目1では、保護者様の評価において昨年度同様高い評価をいただきました。(0,1ポイント↑)
本校の学校教育目標は「本物の笑顔」かがやく広田小です。「本物の笑顔」の意図するところは、「自己実現」「他者貢献」です。今後も、充実した学校生活を通して、本物の笑顔が輝く子供たちを育てていきます。
- 全体的に児童からの評価は、高い数値であること
背景として年度当初から共通実践を図っている「はきものそろえ」が習慣化されていることに加え、2学期から推奨している「広田ベーシック3」（はきものそろえ あいさつ・返事 始業前の黙想）の共通実践が定着、浸透していることが伺えます。
児童期は人生の土台（ベーシック）づくりです。次年度も、広田ベーシック3は、個々により高い意識を持って定着させ、子供たちの自己実現のための重要な要素である、更なる学力向上へとつなげていきます。
- 運動会における評価も概ね高い評価であった。
17年ぶりにホームグラウンド運動会が開催できました。5年生のリーダーシップが大いに発揮され、保護者の皆様の温かなご協力のもと、最大の学校行事を自校の運動場で開催できたことは、何よりの喜びでした。次年度も、今年度の取組をベースにして、更に工夫・改善を加え実施して参ります。
- 評価が低かった項目として「いじめのない学校作り」「あいさつ」が挙げられること。
この2項目の評価が全体的に思わしくなかったことが、今年度の一番の反省点であり、今後の課題として受け止めています。この2つにおける学校としての考えは、保護者様からいただいた声として下にまとめております。今後も改善に向け、取り組んで参ります。ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

次に保護者様からの記述内容としては、以下の点が挙がりました。いただいた主な内容について、内容ごとに整理して回答します。

コロナ禍における情報発信・学校行事について

主に、「学校行事を中止せず実施してほしい」、「もっと情報を発信してほしい」等のご意見・ご感想等をいただきました。

<回答>

今年度も、コロナ感染拡大防止と、児童の健康の安全安心を第一に学校経営を進めて参りました。そのためこの件につきましては、保護者様のご期待に添えなかったことを大変申し訳なく思っています。

しかし、最近ではコロナの影響もずいぶん和らぎ、対策のルールも緩和されつつあります。

次年度の広田小学校のテーマは、“学校にワクワクを取り戻す！”です。必要な対策をしっかりと講じながら、豊かな表現活動を行い、様々な学校行事、異学年や地域の方との交流活動を活発に行っていきます。

いじめを含む子供たちの人間関係のトラブルについて

主に「本校では、いじめは起きているのか?」「いじめで悩んでいる子がいたら、しっかり見てあげてほしい。」という質問・ご意見等をいただきました。

<回答>

まず、本校の「いじめ」に対する考えを申し上げます。

本校においては、いじめを「ない」ととらえることはしません。児童は、集団の中で生活し、たくさんの友達と係わりながら学校生活を過ごしています。集団生活の中では、トラブルはつきものです。その中で我々本校職員は、「いじめはどこにでも起こりえる」と考え動いています。

今現在、そのような考えで児童の様子、交友関係について細かく見ており、小さなトラブルであっても種を掘り起こしながら言葉かけを行っているため、大きなトラブルは発生しておりません。

今後も、いじめは「ない」のではなく、「あると考える動き」「どこででも起こりえる」と考え対応していきます。まずは、あたたかい学級、児童同士の豊かな人間関係をつくるために、教師があたたかい言葉をつかいます。

補足となりますが、中学校校舎で生活する6年生児童については、12月初旬に学年全員に向けて「みんなのことは校長が必ず守る」と校長の言葉で直接メッセージを伝えました。

1月20日の中学校説明会においては、中学校校長から6年生保護者様に話をさせていただき、いじめについて、真摯に向き合っていく考えをお伝えしました。

さらに、2月7日の5年生の授業参観後は、校長より話をさせていただき「校舎は違っても、必ず日々の様子を見守り、絶対に校長が守る」ことをお伝えしました。加えて副校長より中学校校舎で過ごすことの良さについて話をしました。

これからも、児童の心に寄り添い、温かい言葉で包む教育、本物の笑顔を目指す教育を推進していきます。

小中連携（6年生校舎への不安）について

主に、「6年生を中学校校舎に行かせるのが不安」「小学校校舎には、教室が余っているのでは？」等のご意見をいただきました。

<回答>

現時点において、小学校校舎にはまだ空き教室となるスペースは、存在しません。学級として活用していない教室であっても、少人数教室、特別教室として、会議や個別学習等で日々必要なスペースでありますし、水回り、トイレ等の数も十分な環境にあるとはいえません。現状は、申しあげますとおりです。

次に、6年生校舎における小中一貫型教育の良さについては、

- 中学校教師の乗り入れ授業によって、より質の高い専門性のある学びを行うことができます。
- 行事活動等、一部の学校生活を中学生とともに活動することによって、より主体的、協働的な活動を行う環境を味わうことができます。

その環境で育った子供たちの変容が、日々の学校生活や卒業式での姿、5年生を6年生校舎に招いての6年生による説明会における取組の中で、6年生の成長、輝きとして見る事ができました。

1月27日に、5年生を6年生校舎に招いての6年生による説明会を実施しました。

6年生校舎で学校生活を送る5年生へ向けて、6年生が「対話」し「協働」しながら自分たちだけでプレゼンをつくり、一人一人が堂々と中学校校舎における自分たちの頑張りを、誇りをもって伝えました。

6年生は大きな達成感を味わい、5年生は中学校校舎での生活に、大きな希望を感じた機会となりました。

次年度も広田小中一貫型教育の更なる充実に向かって、6年生は対話、協議、分担、協働をキーワードに、「シェアード リーダーシップ（対話、協議、分担、協働）の育成」を行っていきます。また5年生と6年生が学習、行事等の取組の中で、教え合い、伝承していく、距離を超えた、学び、心のつながりの機会を数多く設け、その子の個性に合ったリーダー役へチャレンジさせ、自己実現、他者貢献の喜びを味わわせていきます。

広田小だからこそできる広田小オリジナルの教育を推進していきます。

児童の登下校時のあいさつについて

ここは、評価のポイントももっとも低かった項目です。校内での児童のあいさつは、大変向上しています。課題は、汎用的な力の育成、地域の中での実践です。

広田地区には、見守り隊の皆様をはじめ、子供たちのお手本となっておられる皆様がたくさんおられます。今後も広田ベーシック3に掲げる「あいさつの向上」への取組は継続していきます。学校においては、まずは一番身近な我々職員が、元気のよい挨拶の見本となります。これからも、ご家庭と一緒に気持ちのよいあいさつの推進をおこなっていきたいです。